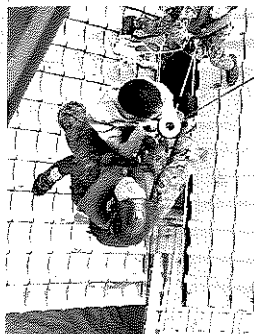


令和2年7月豪雨等に係る災害派遣

7月3日（金）夜より、九州南部で断続的に大雨が降り、翌4日（土）熊本県・鹿児島県で大雨特別警報が発令。球磨川で越水が発生しました。

4日5時36分、熊本県知事から第8師団長に災害派遣要請があり、同日、1万人態勢で災害派遣を実施しました。豪雨は各地に広がり、福岡、大分、山口、山形県知事からも災害派遣要請があり、それぞれの部隊が出動しました。

ここでは、第8師団（北熊本）の活動について紹介いたします。



左の2枚は、7月4日、八代市坂本地区における住民救助。

救助に当たっている部隊は、第8飛行隊（高遊原）です。



7月5日、球磨郡球磨村で第12普通科連隊（国分）が支援物資を運搬しているところ。国道219号線が川のようになっています。



7月8日、人吉市西瀬小学校付近での第2施設群（飯塚）による道路啓開



7月20日、球磨川大橋付近で捜索を行っている第43普通科連隊（都城）。流木が行く手を阻みます。



7月9日、人吉市新町付近での第376施設中隊（都城）による道路啓開

写真は熊本県偕行会長中垣秀夫氏の調整により、西部方面総監部広報室から提供していただきました。